

(1) 貸借対照表

平成27年9月20日 現在

日本ロール製造(株)

(単位:円)

資産の部	6,876,699,117	負債の部	3,645,813,150
流動資産	2,716,467,909	流動負債	1,062,474,850
現金預金	1,429,623,468	買掛金	154,494,599
受取手形	338,307,386	1年以内返済長期借入金	555,770,000
売掛金	570,870,100	未払金	83,606,369
製品	18,306,935	未払法人税等	32,475,285
半製品	122,038,642	前受金	176,040,000
原材料貯蔵品	145,941,496	預り金	27,888,597
未収入金	86,155,461	賞与引当金	32,200,000
前払金	3,004,619		
立替金	1,859,802		
仮払金	360,000		
固定資産	4,160,231,208	固定負債	2,583,338,300
有形固定資産	3,909,990,231	長期借入金	944,690,000
建物	275,172,311	預り敷金	1,094,692,810
構築物	22,137,285	退職給付引当金	170,955,490
機械装置	170,570,731	役員退職慰労引当金	373,000,000
車両運搬具	10,877,522		
工具器具備品	26,139,172	純資産の部	3,230,885,967
土地	2,883,179,117		
建設仮勘定	521,914,093	株主資本	3,230,885,967
		資本金	498,000,000
		利益剰余金	2,824,586,607
		利益準備金	70,000,000
		その他利益剰余金	2,754,586,607
		別途積立金	2,200,000,000
		繰越利益剰余金	554,586,607
投資その他の資産	250,240,977	自己株式	▲ 91,700,640
関係会社株式	240,280,100		
出資保証金	9,960,877		
資産合計	6,876,699,117	負債・純資産合計	6,876,699,117

(2) 個別注記表

1. 重要な会計方針

(1) 資産の評価基準及び評価方法

① 有価証券の評価基準及び評価方法

ア 時価のある有価証券…………… 移動平均法による原価法

イ 時価のない有価証券…………… 移動平均法による原価法

② 棚卸資産の評価基準及び評価方法

ア 機械部門の製品、半製品… 個別法による原価法(収益性の低下による簿価の切り下げの方法)

イ パイプ部門の製品…………… 最終仕入原価法による原価法(収益性の低下による簿価の切り下げの方法)

ウ 建材部門の製品…………… 最終仕入原価法による原価法(収益性の低下による簿価の切り下げの方法)

エ 材料・貯蔵品…………… 最終仕入原価法による原価法(収益性の低下による簿価の切り下げの方法)

- (2) ア 有形固定資産
法人税法に基づく定額法によっています。
イ 無形固定資産
支払時に全額費用として処理しています。
- (3) ア 賞与引当金……………従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を計上しています。
イ 退職給付引当金……………従業員の退職給付に備えるため、退職金規定に基づく期末要支給額により計上しています。
ウ 役員退職慰労引当金……………役員の退職慰労金支給に備えるため、退職慰労金支給に関する規定に基づく期末要支給額を計上しております。
- (4) 繰延資産の処理方法は、支払時全額費用として処理しています。
- (5) 消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

2. 会計方針の変更

- (1) パイプ部門の棚卸資産の継手製品以外の製品の評価基準及び評価方法
前事業年度迄は売価還元法を適用していましたが、パイプ製品の取扱量が著しく減少したため、当事業年度より最終仕入原価法による原価法(収益性の低下による簿価切り下げの方法)を適用しています。
この変更に伴う営業利益及び経常利益並びに税引前当期純利益に対する影響額は-1,827,283円です。

3. 当期純利益 37,613,945 円